

キリストの有機的な牧養

聖書：ヨハネ 10:11, 16. ヘブル 13:20-21. I ペテロ 5:4. 2:25. 啓 7:17

ヨハネ 10:11 わたしは良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。

16 節 またわたしには、この囲いのものではない他の羊もいる。わたしは彼らをも導かなければならない。彼らはわたしの声を聞く。こうして一つの群れ、一人の牧者となる。

ヘブル 13:20-21 永遠の契約の血による羊の大牧者であるわたしたちの主イエスを、死人の中から引き上げた方、すなわち平安の神が、ご自身の目に喜ばれることを、イエス・キリストを通してわたしたちの中で行ない、みこころを行なうために、あらゆる良いわざをもって、あなたがたを成就してくださいますように。その方に、栄光が永遠にわたってありますように。アーメン。

I ペテロ 5:4 そうすれば、牧者の長が現れる時、あなたがたは、しばむことのない栄光の冠を受けます。

2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者、また監督者に立ち返ったのです。

啓 7:17 御座の中央にいる小羊が彼らを牧し、命の水の泉に導いてくださり、また神が彼らの目から、涙をことごとくぬぐい取ってくださるからである。

I. キリストは良い牧者です——ヨハネ 10: 9-18:

A. 主イエスは良い牧者として来て、わたしたちに命を得させ、豊かに得させました—— 10-11 節:

1. 主イエスは彼の羊を囲いから連れ出して、牧場としてのご自身の中に入れました。それは養う場所であり、彼らは自由に彼を食べ、彼によって養われます—— 9 節。
2. 良い牧者は彼の人の命を捨て、彼の羊のために贖いを完成して、彼らが彼の神聖な命にあずかるようにしました—— 11, 15, 17 節。

B. 良い牧者としてのキリストの牧養の下で、「一つの群れ、一人の牧者と」なります—— 16 節:

1. 主はユダヤ人信者たちと異邦人信者たちを、彼の牧養の下で一つの群れに形成しました。
2. 「一つの群れ」は一つ召会、キリストの一つからだを表徴し (エペソ 2:14-16. 3:6)、主が彼の死を通して、彼の永遠の、神聖な命を彼の肢体の中に分け与えたことによって生み出されました——ヨハネ 10:9-18。

II. キリストは大牧者です——ヘブル 13: 20-21:

A. 神はわたしたちの主イエスを死人の中から引き上げて、大牧者とならせました。それは神の永遠の契約にしたがって、新エルサレムを究極的に完成するためです。

B. 永遠の契約は、牧養することにより、新エルサレムを究極的に完成するためです。

C. 永遠の契約は、新約の契約であり、群れである召会を得て、その結果キリストのからだをもたらし、新エルサレムを究極的に完成するためです——啓 21:2。

III. キリストは牧者の長です—— I ペテロ 5: 4:

A. キリストは牧者の長として、諸召会の長老を通して彼の群れを牧養します—— 1-2 節。

B. 長老の第一の責任は、神の群れである召会を牧養することです。長老の牧養がなければ、召会は建造されることはできません。

C. 長老の牧養は、彼らを通してのキリストの牧養であるべきです。

D. 長老は召会を、自分によってではなく、あるいは旧創造によってではなく、復活の中で、牧者の長としてのキリストによって牧養することを学ばなければなりません—— 3-4 節。

IV. キリストはわたしたちの魂の牧者です——2: 25:

A. 霊なるキリストはわたしたちの魂の牧者として、わたしたちの内側の状態を監督し、わたし

たちの内なる存在の状況を顧みます：

1. キリストの有機的な牧養は、おもにわたしたちの魂を顧みることです——詩 23:3。
 2. 彼はわたしたちの魂の益を顧みることによって、またわたしたちの内なる存在の状態を監督することによって、わたしたちを牧養します——参照、ヘブル 13:11。
 3. このような牧養は、内側の内在的で有機的な慰めです。
- B. わたしたちの魂はとても複雑です。ですからわたしたちは、霊の中の命を与える霊であるキリストが魂においてわたしたちを牧養し、わたしたちの思い、感情、意志を顧み、わたしたちの問題、必要、傷を顧みてくださることを必要とします——ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45 後半. 6:17：
1. キリストはわたしたちの霊なる牧者として、わたしたちを霊の内側から顧みます：
 - a. 彼の牧養はわたしたちの霊から始まり、わたしたちの魂のあらゆる部分に拡大します。
 - b. キリストはわたしたちの霊から魂のすべての部分に届き、優しい、有機的な、行き届いた方法でわたしたちを顧みます。
 2. これは手順を経て究極的に完成された三一の神の内在的な牧養であり、彼は彼の再生された信者たちと結合され、ミングリングされ、合併されます。
- V. 将来の永遠にわたって、キリストはわたしたちの永遠の牧者となって、わたしたちを命の水の泉に導き、永遠の満足を得させます——啓7:17。
- VI. 主イエスは使徒の務めを彼の天の務めと合併させて、神の群れである召会を顧み、キリストのからだを生み出しました——ヨハネ21:15-17：
- A. ヨハネ第 21 章はヨハネによる福音書全体の結論であり、キリストの天の務めと使徒の地上の務めとが協力して、神の新約エコノミーを完成することを見せています：
1. 主イエスは復活の後の一つの現れにおいて、彼が天にいてここにはいない間、彼の小羊を養い、彼の羊を牧養するようペテロに託しました—— 15-17 節。
 2. これは使徒の務めとキリストの天の務めを合併して、神の群れを顧みることです。
- B. 牧養に関して、使徒の務めはキリストの天の務めと協力します：
1. キリストの天の務めはおもに、神の群れである彼の召会を牧養することです——ヘブル 13:20-21. 使徒 20:28。
 2. 彼が天で行っていたことを、使徒たちは地上で行ない、彼の天の務めを完成します。
- C. キリストの天の務めと合併された使徒の務めの主要な目的また目標は、キリストのからだを建造することであり、それは新エルサレムにおいて究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを成就します——エペソ 4:16. 啓 21:2。